

イソフタル酸系不飽和ポリエステル樹脂・防水用

タケシール FRP200B

タケシールFRP200Bは、FRP防水用ライニング材として開発したイソ系不飽和ポリエステル樹脂です。強度と柔軟性のバランスに優れています。また、熱劣化が少ないため、初期性能を長期に維持します。

1. 樹脂性状 (試験方法：JIS 6901-2008 準拠)

項目	単位	FRP200BW (冬用)	FRP200BM (春秋用)	FRP200BS (夏用)
粘度	dPa・s/25℃	1.5 ~ 3.5	3.0 ~ 5.0	4.0 ~ 6.6
揺動度	-/25℃	2.0 ~ 3.0	2.0 ~ 3.0	2.0 ~ 3.0
ゲル化時間	分	6.0 ~ 10.0	15.0 ~ 35.0	35.0 ~ 50.0

※ゲル化時間 : 25℃ 55%MEKPO 1.0部

2. 可使時間

温度 (℃)	FRP200BW (冬用)		FRP200BM (春秋用)		FRP200BS (夏用)	
	硬化剤 (部)	可使時間 (分)	硬化剤 (部)	可使時間 (分)	硬化剤 (部)	可使時間 (分)
5	2.0	15~25				
10	1.5	20~30				
15	1.0	20~30	2.0	15~25		
20			1.0	20~30		
25			0.8	20~30	1.0	35~45
30					0.8	20~30
35					0.8	15~25

※50ml ディスポカップ内に硬化剤を添加した樹脂を30g入れ、攪拌棒にてかき混ぜて流動性を確認。流動性がなくなったことを確認した時間を可使時間とした。

※硬化剤の添加量は樹脂100重量部に対する重量部数。 硬化剤：パーメックN

3. 硬化剤 (パーメックN) 標準添加量

	FRP200BW (冬用)	FRP200BM (春秋用)	FRP200BS (夏用)
パーメックN添加量	1.5%	1.0%	0.8%
気温	10℃	20℃	30℃

4. JASS 8 試験 (JASS 8 M-101-2007 準拠)

		項目 (単位)	タケシールFRP200B	JASS 8 規格
標準状態		引張強さ (N/mm ²)	25.8	10 ~ 50
		破断時の伸び率 (%)	98	25 ~ 120
劣化処理	加熱処理	引張強さ (N/mm ²)	25.3	10 ~ 50かつ
		引張強さの保持率 (%)	98	95以上
		破断時の伸び率 (%)	96	25 ~ 120かつ
	アルカリ処理	破断時の伸び保持率 (%)	98	70以上
		引張強さ (N/mm ²)	21.7	10 ~ 50かつ
		引張強さの保持率 (%)	84	70以上
酸処理	破断時の伸び率 (%)	80	25 ~ 120かつ	
	破断時の伸び保持率 (%)	82	70以上	
	引張強さ (N/mm ²)	23.4	10 ~ 50かつ	
	引張強さの保持率 (%)	91	80以上	
		破断時の伸び率 (%)	91	25 ~ 120かつ
		破断時の伸び保持率 (%)	93	70以上

※ブランク：常温硬化約1日後、40℃/24時間の後硬化を実施。

加熱処理：80℃/168時間

アルカリ処理：0.1%水酸化ナトリウム・飽和水酸化カルシウム水溶液 23℃/168時間浸漬

酸処理：2%硫酸水溶液 23℃/168時間浸漬

5. ご注意

- ・ 施工間隔があき、表面が乾燥してツルツルになっている場合は、サンディング、アセトン拭きを行った後、トップコート塗布してください。 パラフィンの除去
- ・ 取扱いにつきましては、SDSをご参照ください。